

新たな船出を迎える日本模型ヨット協会

本年 2 月に開催された役員会において本部役員が一新し、日本模型ヨット協会は新たな船出を迎えました。日本セーリング連盟(JSAF)の模型ヨット部門における艇種別団体として、ワールドセーリングの無線操縦部門(IRSA)の我が国唯一の国別会員(DNM)として、さらには模型ヨットを趣味として楽しむセイラーのために次の 4 つの項目に取り組んでいきます。

1. 「全日本」 競技会の開催

当協会は JSAF に艇種別団体として加盟しているものの、JSAF 会員数が団体要件を満たしていない状況にあります。この状況を早急に解消し、JSAF 公認を受けた「全日本」の冠で競技会の開催を目指します。

2. IRSA における地位向上

当協会は IRSA から我が国における唯一の国別会員の指定を受けていますが、これまで国際的な活動は行われていませんでした。また国際大会への参戦も一部の会員に限られていました。今後、IRSA における地位向上を図り、将来的には我が国において国際大会の開催を目指します。

3. クラス協会との連携

我が国では既に国際ワンメータクラス(IOM)のクラス協会(IOMNCA)が設立され、活動しています。今後、ワンデザインクラスである DF65、DF95 についてもクラス協会を設立し、これらのクラス協会と連携して模型ヨットセイラーの拡充を目指します。

4. 時代に即した協会運営

当協会の目的である模型ヨットの普及を推進するため、総会の開催、役員選挙による選出、協会英語名称の変更等を含む会則の改正、諸規則の整備を行い、時代に即した協会運営を行います。

2022 年 4 月 1 日

日本模型ヨット協会会長

竹本孝弘